



NEWS LETTER

2008年4月30日 No.138

細川律夫国会事務所 Tel 03-3508-7513 Fax 03-3593-7148 E-mail g04091@shugiin.go.jp
南越谷事務所 Tel 048-989-8788 Fax 048-989-5300 HP: http://minshu.org/hosokawa/

暫定税率復活に抗議

自民・公明の与党は、4月30日の衆議院本会議で、ガソリン税など道路特定財源関係税法を3分の2の多数により再議決し、これによって暫定税率は復活することになりました。先の山口2区の補欠選挙でも示されたように、国民の多数は暫定税率廃止を支持しています。また、この議決は直近の選挙での国民の意思を反映した参議院を無視したものであり、民主党は強く抗議しました。

福田総理は来年からの一般財源化を約束しているものの、この日再議決された税法と、5月12以降に与党が再議決しようとしている「道路整備費財源特例法」には、暫定税率を10年間上乘せし、それを原則道路整備費に充当することとされ、一般財源化とは全く矛盾する内容が含まれています。これでは、いくら総理が一般財源化を約束すると言っても、法的裏付けがないため、口約束に終わる可能性があります。

また、景気も曲がり角と言われ、物価も上昇する現在、内需拡大による景気浮揚が必要にもかかわらず、ガソリン、軽油にかかる税の引き上げは経済に冷や水をかけることとなります。地方財政を心配する声もありますが、民主党は地方には別に手当する方策を公表しています。



中国の書道家の皆様と国会の民主党控室にて懇談

後期高齢者医療制度は廃止を

この4月から後期高齢者医療制度が始まりました。これは、国民健康保険や被用者保険に加入していた75歳以上の人を一つの保険制度にまとめ、今までは扶養家族になっていた人も含め全員から保険料を徴収するもので、多くの人が年金から保険料を引き落とされました。この制度は2年前小泉内閣のとき、野党の反対を押し切って強行可決されたもので、民主党はじめ野党はこの制度の廃止法案を提出しています。「カネがない年寄りには医者にかかるな」といわんばかりの制度は廃止するしかありません。

身内捜査の問題点を指摘

細川律夫代議士は、民主党『次の内閣』法務大臣として、法と人権に関わるいろいろな問題に取り組んでいます。4月には法務委員会で2度質問に立ち、鳩山法務大臣らを相手に議論しました。



4月25日、法務委員会にて

4月11日は一般質疑で持ち時間は50分。最初に、高知県と愛媛県で起こった白バイが関係した交通事故で、警察が白バイ隊員に

有利な調書を作ったのではないか、という疑惑、また、埼玉県警の元警察学校の校長が、裏金疑惑を迫ったのに、警察の内部調査では問題なしとされ、さいたま地方検察庁に告発した例を挙げ、警察官が関わった事件、あるいは警察内部の不祥事については、別の組織が捜査にあたるか、あるいは第三者機関に監視させるかすべき、と提案しました。

その後、10年前ではありますが、神奈川県警の本部長が、「不祥事とは事案があっただけでは不祥事ではない。マスコミに騒がれて初めて不祥事になる。事を小さくおさめる。物事は二重、三重の帳簿で処理していく。」などと訓示していたことを紹介し、その事実を認めるよう迫りましたが、警察庁は「仮にそういう発言があれば、言語道断である。」と答えるにとどまりました。この件は後日、その発言はだいたい間違いない、と元本部長も言っているとの報告が、警察庁幹部からありました。とんでもない話です。

さらに、徳島刑務所で起こった受刑者の暴動の捜査を刑務所職員にあたらせた事件について、これは反対に警察など別の組織が捜査すべきではないか、と迫りました。

法の執行というのは、国民から見て疑念を抱かせるものであってはならない、との視点からの質疑でした。

保険金殺人をなくせ

4月25日は「保険法案」に対する法案質疑で持ち時間は60分でした。

保険法案というのは新しい法律で、今までは商法にあった保険契約に関する規定を別個の法案にまとめ、併せて消費者保護に関する条項を整備したものです。

また、全労済やJA共済などの共済も、保険と同等



細川代議士の質問に答える鳩山邦夫法務大臣

の扱いで、契約に関してはこの法律が適用されることになりました。

共済契約などについて質問した後、茨城県や栃木県で実際に起きた保険金殺人の例を引きながら、かねてから取組んでいる検視体制など死因究明の問題について質しました。保険金殺人は2度目、3度目に発覚する例がほとんどであり、きちんと死因が究明されていれば1度目で発見できたケースも多いのです。

最後に鳩山大臣も、「殺人であるのにこれを事故死だ、自殺だ、病死だと誤るなどということは治安対策上最低のことだ」とし、死因究明の改善に向けた努力を約束しました。

大相撲草加場所開催される



4月12日、草加市制50周年を記念して、大相撲草加場所が開かれました。細川代議士も、朝青龍・白鵬戦などを土俵間近で観戦し、「さすがに生

でみると力士の当たりも強く、迫力が違う」と語っていました。

細川律夫より一言

ガソリン税等の暫定税率が復活する。衆議院でまた強行採決で。2年半前の郵政選挙での2/3の多数で民進を悪視し続けています。高令者医療制度、年金制度はと早く衆議院を解散し総選挙で国民の意思に向うべきです。